

パトロール統計2018 on Shingu Beach

○ パトロール総日数

16日間 (7/1・14・15・16・21・22・28・29・8/4・5・11・12・18・19・25・26)

○ パトロール総時間

110時間34分 (平均:6時間54分/日)

○ 総入込数

延べ約6,340名 (パトロール実施日のみの延べ海水浴客数)

○ ライフセーバー人数

延べ117人 (平均:7.31人/日、min4人、max9人)

○ 遊泳条件

遊泳可:10日 遊泳注意:4日 遊泳禁止:2日 (途中変更がある日は、その日のうち一番悪い遊泳条件)

○ 子ども用 PFD 無料貸出

16日:210着

○ アクシデント

重溺者救助	1件	1名
軽溺者救助	2件	2名
安全移送	12件	21名
First Aid	10件	10名
迷子捜索	2件	3名
問題行動等対応	0件	

○ アクシデントの内訳

(※【】内は件数)

救 助	重溺者救助	軽溺者救助	安全移送
疲労			1名【1件】
沿岸流に流される		1名【1件】	7名【3件】
風に流される			10名【5件】
深みにはまる		1名【1件】	1名【1件】
怪我			2名【2件】
不明	1名【1件】		
合計	1名【1件】	2名【2件】	21名【12件】

First Aid	救急要請	病院受診推奨	手当て
擦過傷			4名
切創			3名
裂創			1名
トゲ刺			2名
合計	0名	0名	10名

問題行動等対応	警察通報	海保通報	LS対応
合計	0件	0件	0件

今シーズンは7/22に重溺事故が1件発生しました。当クラブが発足して9年目のシーズンに、初めて発生したパトロール中におけるパトロールエリア内での死亡事故となりました。この事故を経験したことによって、パトロール体制や海水浴エリアの環境、ライフセーバーのあり方など多岐に渡って検討し、より安全な新宮海岸づくりが急務であると考えています。

新宮ライフセービングクラブでは、7/1～9/1の海の家「新宮屋」営業日63日中、土・日・祝日の16日間（計110時間34分）に延べ117名のライフセーバーがパトロールを実施し、1名の重溺者と2名の軽溺者救助、21名の安全移送、10名へのFirst Aidを行っています。活動ライフセーバー数は減少傾向に歯止めがかからないのが現状です。

また、H27年から子ども用PFDを導入し、パトロール時間中に子ども対象に無料レンタルしています。今シーズンもPFDレンタル利用数は延べ210着であり、子どもたちの安全に大きく貢献できました。壊れたPFDが増えてきた中で例年とおりのPFDレンタル利用者数であり、回転率が著しく向上していることがわかります。PFD不足で貸し出せない事象も増えてきていることから、PFD増数も望まれます。

シーズン	パトロール総日数(時間)	総入込数	延べLS数	平均LS数	重溺救助	軽溺救助	安全移送	FirstAid	迷子捜索	PFD
H22年	15日(84時間11分)	4,900名	73名	4.87名	0名	0名	11名	10名	0名	0
H23年	17日(101時間36分)	6,250名	171名	10.06名	0名	2名	42名	8名	2名	0
H24年	18日(116時間46分)	7,860名	278名	15.44名	0名	0名	26名	4名	1名	0
H25年	18日(117時間23分)	7,260名	292名	16.22名	0名	0名	30名	6名	5名	0
H26年	15日(100時間57分)	5,950名	227名	15.13名	0名	0名	9名	15名	4名	0
H27年	22日(153時間53分)	21,700名	253名	11.50名	0名	5名	17名	10名	3名	10
H28年	18日(126時間15分)	6,830名	203名	11.28名	0名	3名	22名	18名	4名	295
H29年	19日(132時間20分)	6,390名	170名	8.95名	0名	2名	15名	10名	2名	213
H30年	16日(110時間34分)	6,340名	117名	7.31名	1名	2名	21名	10名	3名	210

今年の溺者24名のうち21名が、沿岸流や風で流される、浮具が流されるなどにより、足がつかない水深での救助でした。87.5%もの溺者が不本意に深い水深へ行ってしまい、救助されたものです。

新宮海岸では消波ブロックにより、水深が深い所と浅いところが扇状に変化しています。その水深や沿岸流・離岸流、風の流れについての広報活動が未然事故防止の重要なカギとなります。よって、今後は注意喚起看板設置やエリアブイ設置などの、より効果的で実効性が高い海水浴エリア環境を検討し、更なる未然事故防止を図っていきたいと考えています。

さらに、地域の子どもたちにこれらの危険性や海での遊び方を伝えていくことも重要な活動であり、これから力を入れていきたい活動です。

用語の意味

重溺者：意識不明の溺者

軽溺者：意識はあるが自力で浮くことが困難な溺者

安全移送：自力で浮くことはできるが、自ら安全な位置や浜に移動することができない者の移送

First Aid：応急手当（心肺停止以外の傷者に対し、その状態を悪化させないための最低限の諸手当）

PFD：Personal Floatation Device（救命胴衣。通称：ライフジャケット）

2018年 パトロール風景

